

◎ 基本施策の考え方

- 地域福祉計画においては、基本理念である「誰もが居場所と出番を持って、共に支え合いながら、安心してすこやかに自分らしく暮らせる地域社会の実現」に向けて3つの基本目標を設定した。
- 基本目標の達成に向け、基本目標の構成要素を抽出・整理し、分野横断的に基本施策を位置付ける。

【基本目標1】

区分		基本施策
基本目標	①一人ひとりの思いを受け止め、社会からの孤立を防ぐための体制を強化します	①きめ細かい相談・支援体制の強化
目標の考え方	人口減少や少子高齢化、家族の在り方の変化などに伴い、複雑で多様な生活課題を抱える方が増えてきており、悩みや問題を抱えた個人や家庭が社会から孤立してしまうことが懸念されます。 ②自ら声をあげられない人や困りごとを抱えている人の悩みに気付き、支援につなげていくための体制づくりや取組を充実させ、社会から孤立することがなく安心して暮らせる地域を目指すほか、誰もが身近な地域で、すこやかに自分らしく暮らせるよう、③地域とのつながりを築くことができるイベントへの参加や④、⑤健康づくりの推進に向けた自発的な取組などを促進します。	②地域における見守り活動の充実 ③生きがい・居場所づくりの推進と社会参加の促進 ④健康づくりの推進に向けた自発的な取組の促進 ⑤権利擁護の推進

【基本目標2】

区分		基本施策
基本目標	一人ひとりの出番を創出し、地域で支え合うまちづくりを推進します	
目標の考え方	地域においては、見守り・安否確認や買い物等といった新たな日常生活の困りごと等が発生してきています。これらの困りごと等に気付き、解決につなげていくためには、日頃からご近所付き合いを行っている地域の皆さんとの連携が特に必要になってきます。 また、社会全体で支え合う取組を安定的に継続していくためには、①住民一人ひとりが自らの地域に思いや関心を持ちながら、②、③主体的に活動することが重要となってきます。例えば、元気な高齢者の皆さんから、支援が必要な人の居場所づくりの担い手として活動していただくなど、地域における一人ひとりの出番を創出し、日常生活を送る中で、住民同士が支え合う関係を築けるようなまちづくりを目指します。	①個性や多様性を認め合う市民意識の向上 ②地域福祉活動の促進 ③地域における支え合い体制の充実・上越市版地域包括ケアシステムの構築

【基本目標3】

区分		基本施策
基本目標	一人ひとりの生活を支える基盤づくりを推進します	
目標の考え方	①、②個人の状況に応じた効果的かつ温かみのある福祉サービスを展開していくことにより、住民一人ひとりが安心してすこやかに暮らしていくための基盤を整えていきます。 また、③災害時等の緊急時においても、安心した生活が送れるよう、拠点整備や受入れ体制づくりを推進していきます。	①個人に寄り添った福祉サービスの提供 ②情報提供体制の充実と情報入手に係る支援 ③安心して暮らせる環境の整備

【基本施策の体系】

